



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 364 号

(創刊 1988.12.14)

2020.01.05.

新年のご挨拶

会長 比留間 哲生

新年明けましておめでとうございます。昨年は事業者がオリンピックに向け、横環南線の事業化を強引に進め「事業を進めるに当たって住民との合意が不可欠である」との話し合い路線を投げ出し、「土地収用法」を振りかざして有無を言わず供用に向けて突っ走った年でした。

しかし先輩たちが始めた30年以上にわたる「白紙撤回を含む抜本の見直し」を旗印に抵抗してきた結果、工事には着手したもののあちこちに認識不足と工事計画の杜撰さが現れ、事業者は昨夏に圏央道連絡調整会議なるものを設置し「完成が遅れる」と第1回目の言い訳け宣言を行いました。これからも私たちが指摘してきた問題点が続々と発生するだろうことは間違いありません。今後もこの良好な生活環境を守るため住民の立場から提言し続ける所存です。

昨年私たちが市議会を動かした脱硝装置設置請願が全会派一致で採択され、それに基づく市長の要請を受けて事業者は検討課題としています。このように「要請が生きていること」をご確認ください。

昨年11月23、24日に連協が主催の全国道路連の全国集会は皆さまのご協力のもと、あーすぷらごで成功裏に開催することができました。私たちの30年以上にわたる貴重な運動の成果を全国の皆さまと共有すべく「住民参加の道路事業」と題し「住民が主人公であったか」、「未来に何を伝えるか」を話し合い、大変な盛り上がりで「工事が始まったら運動の意味がないのでは」との心配ではなく、この貴重な体験が全国に広がっていく流れが生まれたのです。

またこれからは工事の影響、そして供用後の地盤沈下や健康被害等の住民被害が予想されます。問題が生じた時、弱い立場の住民が直接事業者と対峙することは難しいので相談窓口は町会、自治会であることが必要と考え、その仕組みを皆様と共に作っていくことがこれからの仕事と位置付けています。今、日本でも大きなうねりとなっているSDGsの本当の出番です。そこに掲げられている理念が行政の義務であることを逆に盾とし住民として将来の安全安心を勝ち取っていきま

しょう。

国家予算が103兆円と過去最大になるようです。昨年の台風15、19号の反省から「国土強靱化対策」に力を入れようとしています。しかし地方自治体による陳情は「建設ではなく補修へ」と時代が変わっているのは明らかです。少子高齢化がいよいよ本番です。鳥取県がなくなるような感覚の人口減少が現実となりつつあります。私たちの横環南から全国に本当の公共事業の在り方を発信していく年にしていきたいと思います。

地権者トラストの会の総会報告

発足当初537名の会員も389名へ3割近く減少しましたが、241名の委任状と14名の出席を得て、12月8日(日)朝日平和台自治会館に於いて第25回定期総会を開催しました。

土地収用法の改悪により道路事業への有効な抵抗手段は封じられた中で7月29日に原宿トラスト地が収用され、3か所全てが強制収用されたので、会は解散へ向けて手続きを進めます。

これまでの方針では、未解決の小菅ヶ谷トラスト地所有権問題が決着した後、臨時総会で承認を得ることとしていましたが、今総会において会員の高齢化が進み臨時総会の開催が覚束ない状況のため、文書による結果報告で臨時総会に代える事で承認されました。

役員会は上記承認に基づき、小菅ヶ谷トラスト地の所有権問題と出資金分配について取り組み、結果を会員に通知した上で会を解散いたします。(事務局)

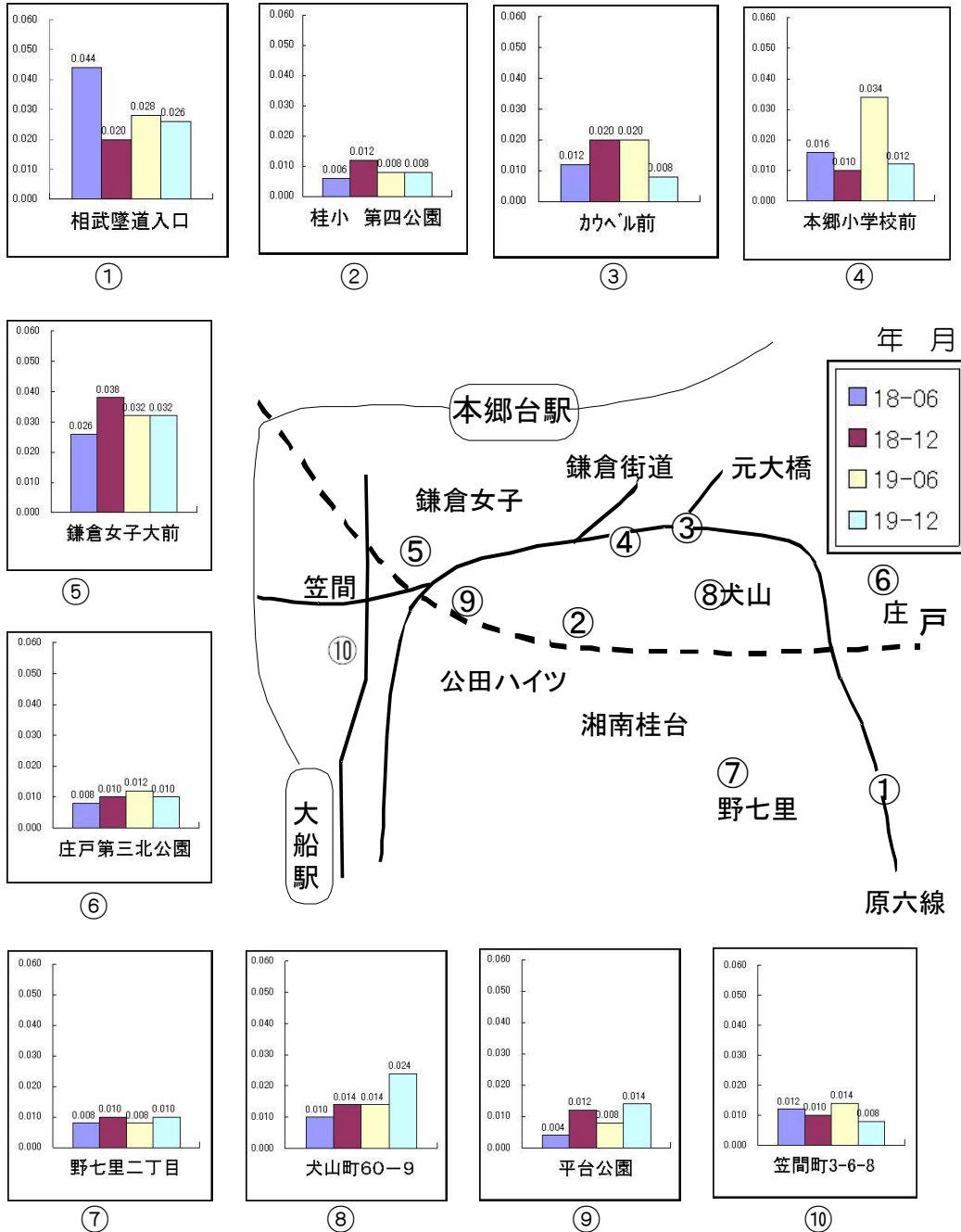
対外活動報告

- 12/05 8/28の調整会議及びいたち川改修工事に関して事業者(横浜国道事務所計画課長・NEXCO工事事務所工務課長)とヒヤリング(会長・事務局長)
- 12/07 川崎公害根絶・市民連合会の学習会(公害被害者救済制度) 1名参加(環境部長)
- 12/08 トラストの会総会
- 12/12 東京外環道工事差し止め訴訟第7回口頭弁論1名参加(会長)
- 12/17 情報公開請求審査請求裁決書通知遅れ抗議に関する国交省ヒヤリング(永田氏ご長女・会長)
- 12/18 道路全国連45周年記念誌編集会議(会長)

令和元年(2019年) 12月期のNO₂定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所50箇所に 二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は曇り、微風の中での測定でした。以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。いずれも環境基準内であり、全52ポイントの平均値は0.014と前回の0.014と同じです。

環境基準:0.060ppm (0.020ppmが最初の基準、達成できず、緩和された)



二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。
 カプセルの準備:カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に配布。
 測定 :測定場所に各番号のカプセルを24時間設置した後回収。
 分析 :試薬を加えると、ろ二酸化窒素と反応して赤紫色に呈色します。
 エコアナライザーNoxで測定し、ppmでデジタル表示されます。